

会社側諮問委を希望

知事から副知事へ連絡

水俣病問題解決などのため上京中の寺本知事は十三日夜、水上副知事に電話で「新日本窒素の吉岡社長が口頭であつた依頼をした」旨連絡、これについて同副知事は十四日つぎのように語った。

寺本知事は十二、十三の両日吉岡社長と会ったが、十三日衆議院水俣病調査団に参加した県選出の坂田、福永、川村の三代議員が知事と吉岡社長との間に立ち、あつた依頼を依頼するよう吉岡社長にすすめた。

その結果、吉岡社長は十三日口頭で知事にあつた依頼したが、そのさい知事が公正な諮問委員会をつくって、その意見をきくよう希望した。吉岡社長は十六日社内手

続きを終わり、正式文書であつた依頼するが、十三日とりあえず口頭でこの旨を伝えたのは、会社側が十四日の県議会運営委員会などを考慮したためである。

会社側が希望した「公正な諮問委員会」の内容についてはまだ明らかにされていないが、県漁連は知事の上京に先立つて十日、知事にあつた依頼のんでおり、知事が帰任する十八日以降に、知事を仲介者として双方の話し合いが具体的にはじまる見通しとなった。